

# 第14回 エネルギー・原発問題委員会 開催

9月25日(木)第14回エネルギー・原発問題委員会を開催しました。

合計55名が参加し、活発な議論が展開されました。



▲村田座長(株式会社高島屋 代表取締役社長)



▲会場の様子

## ■議事

### I. 委員会名称変更について

### II. 2025年度上期活動報告

- ①資源エネルギー庁主催かべ新聞コンテスト後援
- ②省エネ補助金制度勉強会
- ③高レベル放射性廃棄物勉強会(地層処分)
- ④青森県六ヶ所村エネルギー関連施設視察研修会  
議論:「地層処分の実現を加速させるには」

### III. すべての電源の特長を俯瞰的に理解する

- ①各電源特長のファクト紹介  
議論:「未来のエネルギー像」

## ■決定事項

- ・委員会名称変更は行わず、委員会活動に対する  
会員理解・参加促進に注力する
- ・議論内容について資源エネルギー庁との意見交換を検討する
- ・理想の電源について引き続き議論していく

## 【出席者からのご意見】(一部抜粋)

- ・原子力発電の裏には、埋めなければならない廃棄物、その作業をする作業員がいる。私たちはもっと関心を持たなければならない。国民的課題として機運を作っていきたい。
- ・労働組合としても、活動を通じて、組織内に問題解決に向けて共感できる人を増やしていきたい。
- ・日本経済を考えると、原発問題は解決しなければならない。日本は知恵を絞って世界に先んじて新しい道を拓いてほしい。国にはより力を入れて予算もつけてほしい。
- ・原発反対、再生可能エネルギー推進の立場であるが、日本経済にとって原発が必要なことも理解している。この難しい問題を解決し得る新技術について多くの国民に関心をもってほしい。
- ・委員会への参加者が増えないのは、多くの方が、エネルギー・原発問題を他人事として捉えていることに起因していると思う。電気が当たりまえに使えるその背景にも注目し、向き合ってほしい。
- ・六ヶ所村と原子力産業はうまく共生できていると感じたが、だからと言って放射性廃棄物を永続的に管理してもらおうというわけにはいかない。廃棄物の問題を国民全体で議論できる働きかけをしたい。



▲発言される委員の皆様(ほかにも多くの方からご意見をいただきました)

## 【事務局所感】

活発にご議論いただきありがとうございました。

会員の皆様におかれましては、是非次回の委員会へのご参画をお願いします。ともに国民的議論の喚起に努めて参りましょう。